

RKM会報

2007年
8月発行

RKM 80年

会長 大澤茂樹

1976年RKM50周年祝賀会開催、翌年50年史が二代会長宮崎清文(12文)さんを中心に編纂、発刊された。ページを彩る写真集は若き日の懐かしさに溢れ、又記念パーティでの参加者の笑顔に満ちている。

初代会長三ツ本常彦(2文)さんの巻頭言を引用すると、昭和2年の秋、関東高校リーグが結成され、武蔵も加盟校の一員に加わった事からRKM(籠球武蔵)のスタートとしたようである。創設当初のメンバーはただバスケットが好きだが、経験者がいないので、自ら調べ、自ら考えざるを得ない状況の中でスタートであった。その後メンバーの一人である畑先生が昭和18年から教員として学校に残った事が、50年後の今日もRKMの精神風土が変わらないうで脈々として生き続けていることに大いに貢献している。我々はRKMの一員として唯バスケットを共にしたと言うだけではなく、何かそれ以上の共通した心情を持ち合っている。今では親子程、或いはそれ以上の年代隔たりが会員の間に生じてきている

が、RKMとして集まれば、一瞬のうちに同じような心情に浸れると言う事はすばらしいことであり、この喜びを何時までももち続けられるように大事にしたいものである。

更に50年史には、創部以来50年に亘る克明な戦績記録、年代毎の座談会記事、畑先生の「RKM50年は私の人生そのものの50年」とのバスケットに注いだ熱き情熱文が記載されている。座談会記録から見ると、屋外コートでスタートした旧制武蔵高校 basketball 部創設時代、昭和5年に落成した体育館で汗を流した時代、戦時中軍隊の倉庫に使用され荒廃した体育館での戦後の再生時代、華やかな黄金時代、その後の10年を担った時代、夫々に青春の思い出が語られる中にRKMの精神が息づき、引継がれている。良き伝統が育まれて来たのである。その後昭和45年新体育館の完成をみたが、畑先生の引退等、大きく環境が変化しながらもRKMは更なる30年を積重ね、創部80年を迎える事が出来た。

しかし想いを一にする多くの諸先輩が他界され、とりわけ大黒柱であった畑先生が亡くなられた現在、新たな再生を期すのは必然である。

私が前会長瀬古さんから、新制が中心になりRKMの活性化を託されて一年になるが、その間、瀬古さん、黒板さん、鹿子木さん等の示唆もあり現役の

ゲームを観に行く機運が高まりつつある事は大変喜ばしい。更に吉沢(32期)君を中心に清水、久我、畑、吉永、桑水流、竹原、時任、桑田君等に卒業間もない木本、堀田君等を加えた幹事が揃い、会員の親睦、交流と現役支援の二大目的が先の総会で決議され、新生RKMの新たな始動である。幸いにして、現在は山崎校長のご理解、ご支援を頂き、山崎先生の熱心なご指導で現役のバスケットボール部は健全に活動している。80年を機に、良きRKMの伝統が継承されていく事を期待している。



平成18年度RKM総会の報告

2月21日(水) 学士会館210号室に於いて、学生などの若手も含め会員35名の参加で平成18年度RKM総会が行われた。

19年度よりの活動方針・新たに整備する会則・それに伴う年会費徴収など幹事会提案議題について、会員一同より了承を得た後懇親会となった。

懇親会ではゲストとして山崎元男校長先生から、自身も高校時代バスケット一筋であったことや、RKMの名前は錬金術に由来するのでは是非学校にも寄付をお願いしたいとのスピーチがあった。

高校コーチの山崎正晴先生からは、新人戦で13年ぶりに支部大会を勝ち抜き本大会出場を果たしたこと、高校2年(現3年)の脇田君・1年(現2年)の徳武君が続けて支部選抜メンバーに選出され



▲山崎元男校長



▲山崎正晴コーチ



▲津田好一先生

今後有望との報告と、4月からの関東大会予選・6月からのインターハイ予選でのOBの応援をお願いしたい旨のお話しがあった。

書道の非常勤講師、津田好一先生は畑先生が校長をされていた時代の京北高校でバスケットをしていたそうだが、現在は武蔵のバスケットを愛して応援しているとの熱いメッセージを下さった。

中学コーチの木本・堀田両名からは、高校でも役に立つよう走る体力を重点に指導している



▲中学コーチ 木本(右)、堀田(左)



こと、現在の中学生も頑張っていて有望なのでこちらの応援も宜しくとのことであった。
会員一同和やかに歓談の後散会となったが、来年からもこの時期(2月の第3水曜を日処に)定期的に総会を開催する予定ですので、日程の調整を今からお願いする次第です。

(53期 時任敏基)

★★ ホームカミングデイ ★★



平成18年9月9日、現役との交流・OB間の懇親に約30名が参加。



▶▶▶ ホームカミングデイに参加しませんか

本年も9月15日(土)14:00から同窓会主催のホームカミングデイが開催されます。現役とのゲーム、フリースロー大会などを行います。体育館は関係ないのですが、この秋、グラウンドの人口芝化が完了予定です。サッカー部の仲間に入れてもらえるかどうかは不明ですが、きれいになったグラウンドを見る機会にもご利用下さい。

● 高校情報 ●

■ 平成18年度、高校新人戦、第3支部大会

◇ 第1戦 / 平成18年10月22日 (都荒川工高校)

武蔵 134 - 41 都板橋

◇ 第2戦 / 平成18年11月3日 (都田無高校)

武蔵 83 - 58 都田無

◇ 第3戦 / 平成18年11月5日 (巢鴨高校)

武蔵 79 - 50 巢鴨

◇ 第4戦 / 平成18年11月12日 (巢鴨高校)

武蔵 65 - 66 都練馬

(支部ベスト8 / 本大会出場 / 68期以来)

【10月私学戦】

下記参加校により平成18年9月17日、18日、23日、24日に開催された〈帝京高校〉。

高校：大東文化一、帝京、豊島学院、立教

池袋、芝浦工大、淑徳、淑徳巣鴨、城北、城西、本郷、自由学園、豊南、武蔵。

中学：帝京、立教池袋、淑徳巣鴨、城北、城西、本郷、自由学園、武蔵。

■ 平成18年度 高校新人戦 都大会

◇ 第1戦 / 平成19年1月6日 (都荻花高校)

武蔵 78 - 75 都荻花

◇ 第2戦 / 平成19年1月7日 (世田谷学園)

武蔵 73 - 113 都東大和

■ 平成19年度 春季大会 兼 関東大会予選

◇ 第1戦 / 平成19年4月22日 (都新宿高校)

武蔵 78 - 75 都荻花

◇ 第2戦 / 平成19年4月29日 (日本学園)

武蔵 73 - 113 都東大和

◇ 第3戦 / 平成19年4月30日 (八王子高校)

武蔵 73 - 113 都東大和

■ インターハイ予選 東京Dブロック

◇ 第1戦 5月27日 (武蔵)

武蔵 138 - 45 多摩大附聖ヶ丘

◇ 第2戦 6月3日

武蔵 100 - 64 巢鴨

◇ 第3戦 6月10日

武蔵 86 - 69 東京農大一高

◇ 第4戦 6月10日

武蔵 58 - 116 東海大菅生高

残念ながら第4戦で東海大菅生高に敗退しました。現高3が引退し、新たな戦力が中学から加わります。また来期の応援をお願いします。

メール配信をしています

現在、現役情報(試合結果、OB観戦記など)をメールで配信しています。現在収集できているメールアドレスは約120名分です。

もし今年の現役インターハイ予選などの情報をメールで受信されていない方で、メール情報を希望される方は担当幹事47期桑水流(くわづる)君 (Eメール: kuwazuru@kddi.com) あてにその旨をメールでご連絡ください。